

名古屋能楽堂 九月定例公演

能楽普及公演

能の女 ヒロイン 狂言の女 ヒロイン

優くて優しい…だけじゃない。最強ヒロイン登場!!

Nagoya Noh Theater
September 2018



能「半部」

撮影:前島写真店



能「海人」

撮影:工房円

平成30年
9月2日(日)

14:00開演 (13:30開場)

指定席……………4,100円
自由席(一般)……3,100円
自由席(学生)……2,100円

※当日券は自由席のみ500円増となります。

前売券発売6月28日(木)

能

舞囃子

狂言

能

「海人」(宝生流)
シテ 衣斐 愛

「花筐」(観世流)
シテ 前野 郁子

「若市」(和泉流)
シテ 野村又三郎

「半部」(金剛流)
シテ 熊谷真知子

同時開催 「東山荘おでかけ市民茶会」

開演前と休憩中に名古屋能楽堂会議室にて茶会を開催します。
幽玄の「能楽」 侘び寂びの「茶道」。能と茶道には共通点があります。
一服:500円(美濃忠のお菓子付・限定80名)※チケットをお求めください。

【チケット発売 6月28日(木)】

主催:(公財)名古屋市文化振興事業団[名古屋能楽堂・東山荘]

前ご来場の方に抽選で素敵なプレゼント!

本公演にご来場の方の中から抽選で10名様に能楽グッズをプレゼントします。
※ご入場の際にお配りするパンフレットに応募券[ご応募の締切は休憩終了まで]が入っておりますのでご確認ください。

イヤホンガイド 演能の解説が聞ける受信機を無料でお貸しします。(日本語/英語)
Noh performance Guide/Rent-free for a wireless headset(Japanese/English)



能 半部 (金剛流)

前シテ 里女 熊谷真知子
後シテ 夕顔女 飯富 雅介
ワキ 備 井上松次郎
アト 所ノ者 大野 誠

小鼓 後藤嘉津幸
大鼓 河村眞之介
後見 宇高 通成
百々 康治

地謡 平澤由美子 鈴村 昌美
田中 春奈 加藤かおる
大川 磨美 伊藤 雅子
千葉真理子 羽多野良子

狂言 若市 (和泉流)

シテ 住持 野村又三郎
アト 若市 奥津健太郎
立頭 尼 藤波 徹
立衆 尼 伊藤 泰
立衆 尼 伴野 俊彦
立衆 尼 松田 高義
アト 重喜 野村 信朗
後見 佐藤 友彦

仕舞 巴 (金春流)

シテ 鬼頭 尚久
廣瀬 雅弘
本田布由樹
小島 芳樹
前田 登

仕舞 葛城 (喜多流)

シテ 長田 驍
伊藤 英毅
長田 郷
松井 俊介

舞踊子 花筐 (観世流)

シテ 前野 郁子
山村 友子
船戸 昭弘
河村総一郎
八神 孝充
清沢 一政
久田 勘鷗
松山 幸親

能 海人 (宝生流)

前シテ 海人 衣斐 愛
後シテ 龍女 陶山さくら
子方 房前大臣 高安 勝久
ワキ 従者 橋本 幸
ワキツレ 従者 相元 正樹
アト 浦人 鹿島 俊裕

(午後六時五分頃終了予定)

【イヤホンガイド】

能「平薙」 日本語/米田真理(朝日大学経営学部教授)
能「海人」 日本語/中尾 薫(大阪大学大学院文学研究科准教授)
英語/藤江さお里(通訳ガイド)
英語/藤江さお里(通訳ガイド)

◆能解説「半部」(はしとみ)

都紫野の雲林院の僧が、夏安吾(夏の修行)の終わりに立花供養を行っているところに一人の女が現れ、夕顔の花を手向ける。僧が女に名を尋ねると女は、五条あたりのものだと言ったのち、活けられた花の陰に隠れて見えなくなってしまう。(中入)僧が不思議な思いをしていると、所ノ者が光源氏と夕顔とのことを物語り、その女は夕顔の亡霊であろうという、五条あたりへ用いに行くことをすすめる。僧が五条あたりを尋ねてみると、荒れ果てた一軒の家に夕顔の花が咲いている。夕陽が落ち、月がさし込むこの家の風情を眺め、『源氏物語』の昔を偲んでいると部戸を上げて女が姿を見せる。女は源氏との思い出を語り、舞を舞うが、夜の明けぬうちに別れを告げてふたたび部戸の向こうへ消えてゆく。

◆狂言解説「若市」(にやくいち)

寺の住僧が檀家宅で齋(とき)食事(とき)を頂いた帰り道場に住む尼の若市に出会います。これから里に帰るという若市に対して、夕暮れ時になつて出歩く事を咎め、日頃の態度を叱責すると、若市も負けじと言ひ返し、たために口論となり、住僧は若市が持つていった花に難癖を付けて筆取りります。怒つた若市は仲間の尼達を引き連れて...。本曲は人間関係の間に生まれる優劣(立場)の逆転を主眼とし、傲慢かつ横暴な男性に対しても怯まずに団結して対峙する女性像を描いています。類曲に「髭櫓」がありますがいずれも上演機会の稀な大勢物の演目です。(狂言方 和泉流 井上 菊次郎)

◆能解説「海人」(あま)

房前の大臣は、讃岐国志度の浦で没したという亡き母の追善をしようと訪れたところ、一人の海人が現れる。従臣は、海に映る月を見るために海松布(海藻)を刈るよつに頼むと、海人は唐帝から故あつて贈られた面鏡(かほ)を玉が竜宮に奪われてしまい、それを取り返してきたのがこの浦の海人である。と昔語りを始め、その次第を仕方語りに再現してみせる。そして、ついに自分こそが房前の大臣の母の霊であると名乗り、手紙を渡し海中に姿を消す。(中入)大臣は、浦人からも玉取りの次第を聞き、追善供養を執り行くと、読経のうちに龍女となった海人が現れ、法華経の功德で成仏できたと言ひの舞を舞い、仏縁を得た喜びを表す。

九月定例公演事前学習講座

8月18日(土) 14:00~16:00

[受講チケット] 九月定例公演とのセット券500円、一般券1,000円 ほか

◆能「半部」「海人」のあらすじ、見どころを解説します。詳細は事前学習講座チラシをご覧ください。

チケット料金(税込) *前売券発売日 平成30年6月28日(木)

Table with 3 columns: 指定 Reserved, 自由 Adult, 学生 Student. Rows: 前売 Advance sale, 4,100円, 3,100円, 2,100円.

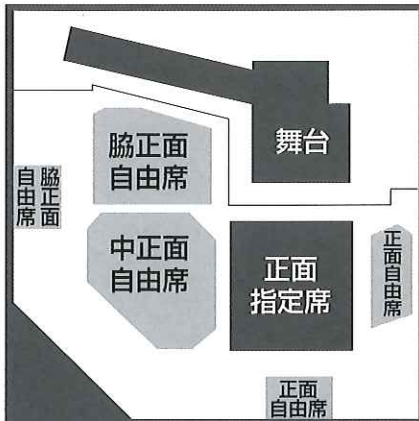
- *当日券は自由席のみ500円増となります。
*学生券は25歳以下を対象とします。
*事業団友の会会員・障がい者手帳等をお持ちの方(付添者1名含む)は1割引(学生券をのぞく)
上演中の写真撮影・ビデオ撮影・録音は、事前に許可を受けた方以外はご遠慮下さい。

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂/TEL.052-231-0088
名古屋市文化振興事業団チケットガイド/TEL.052-249-9387
栄プレチケ92/TEL.052-953-0777

チケットぴあ/TEL.0570-02-9999
*お近くのセブンイレブン、サークルKサンクスでもお買い求めいただけます。
*外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売、当日とも1割引致します。

お問い合わせ/名古屋能楽堂 TEL 052-231-0088 FAX 052-231-8756 http://www.bunka758.or.jp



*地下鉄・バス等公共交通機関をご利用ください。
ワクワク・ドキドキ特典がいっぱい
「友の会」会員募集中!
公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 TEL.052-249-9385